



はい  
みんな  
集まってね



いとう  
くん

もしかしたら  
歩き回って  
いるのかも

ありえそう  
ですね

うーん...



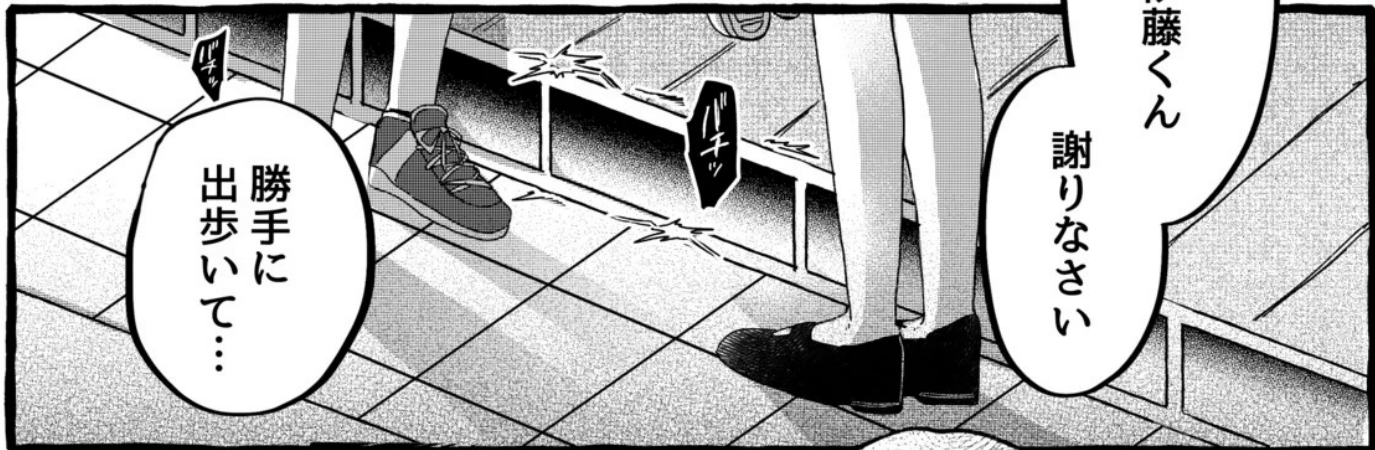
……あれ？

伊藤くんが  
いませんね

私探してきますんで、  
2組は見学  
始めててください







伊藤くん

謝りなさい

勝手に  
出歩いて…



な…何!?

体が痺れ…

カッ

カッ

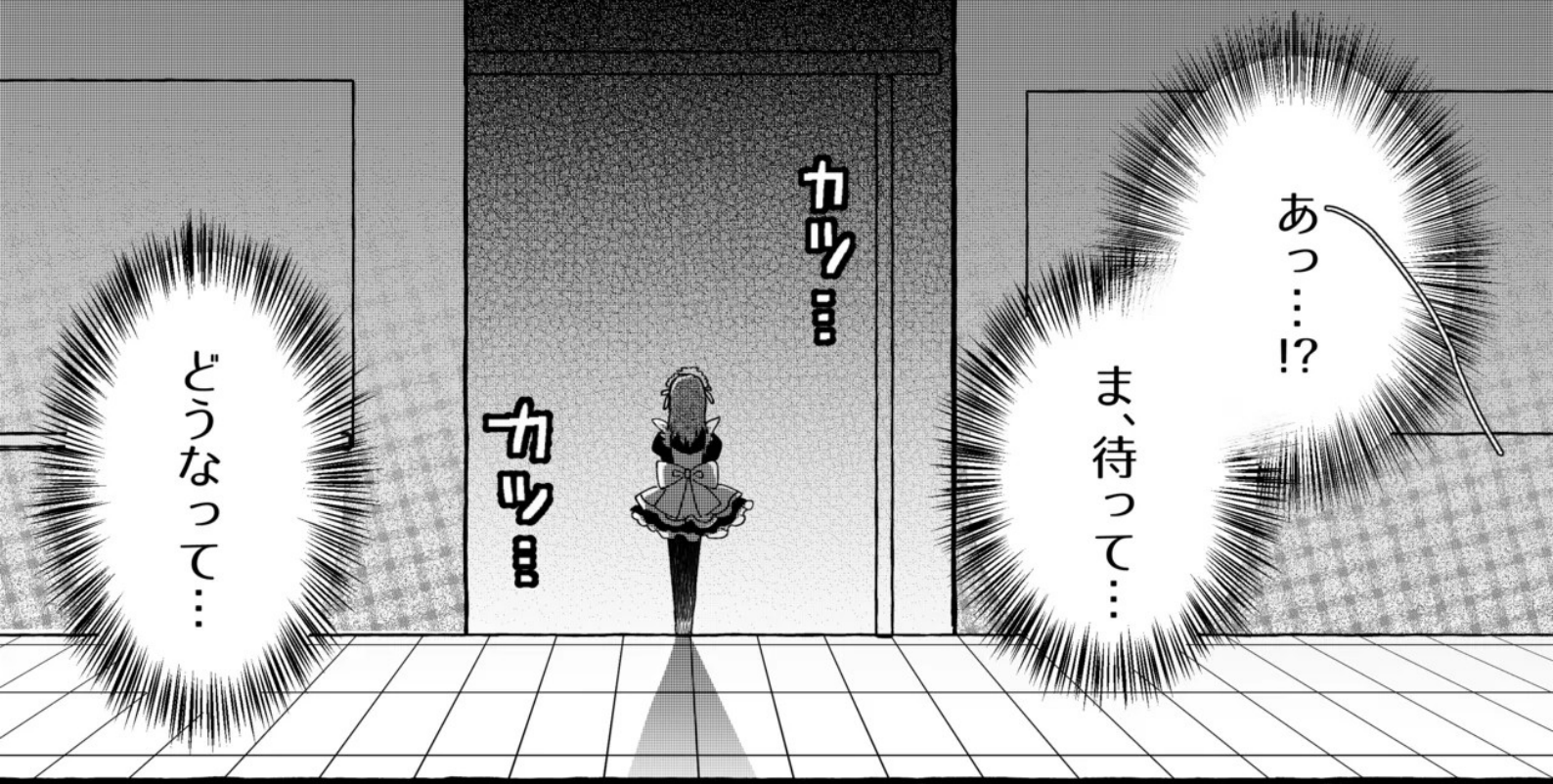
!

カッ

カッ

カッ

カッ



どうなって…

カツ…

カツ…

ま、待って…

あ…!?



あ…

カツ…

カツ…

カツ…

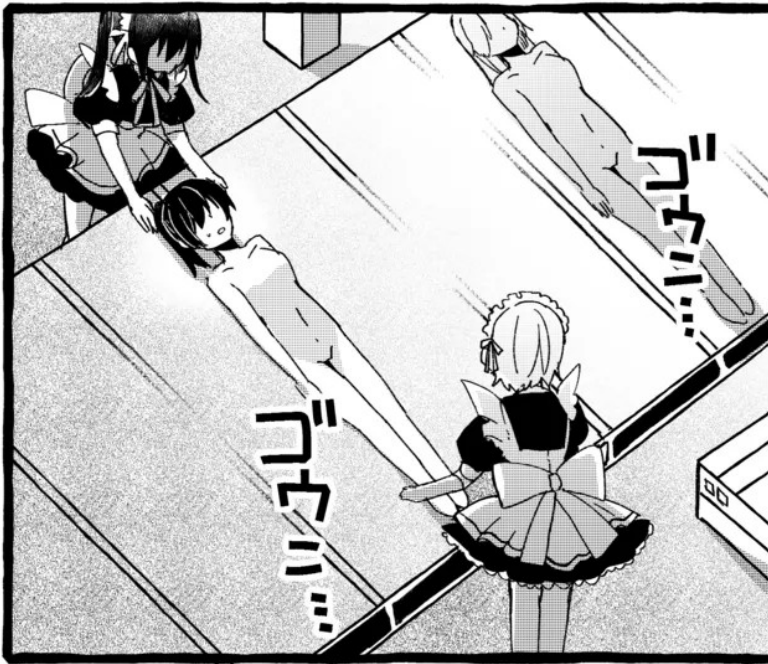
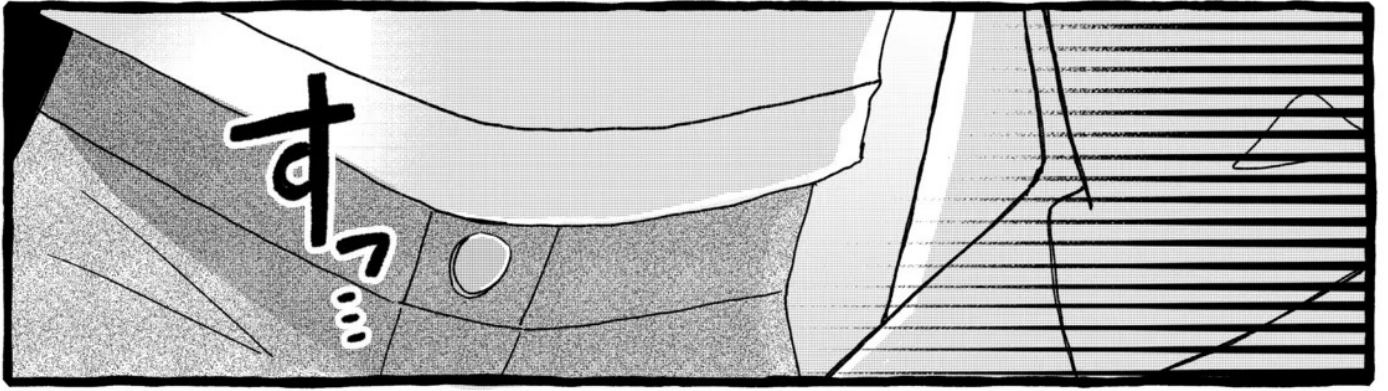
…なんで

カツ…



急に体が…

た、  
助けてください





…たす

助けて…!!



わあーっ  
すっぴんっ!

おー…



…う、嘘でしょ

ゴウカニ

ゴウカニ

これって…まさか…

ゴウカニ!!!

ゴウニ

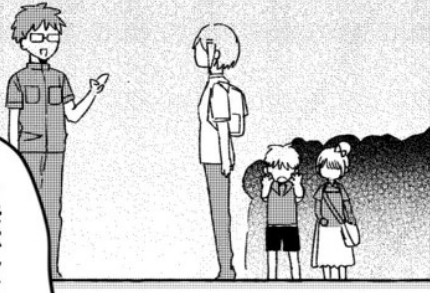
この工場は  
ほぼ無人なんだ

ワイ



ワイ

ゴウニ



異変は全て  
メイドロボたちが  
自動的に対処して  
くれるからね

ゴウニ

ゴウニ



ねー、  
あれ  
たおれたり  
しねーの？

大丈夫！

ライン全体に電気信号を流して  
常に神経を制御しているからね



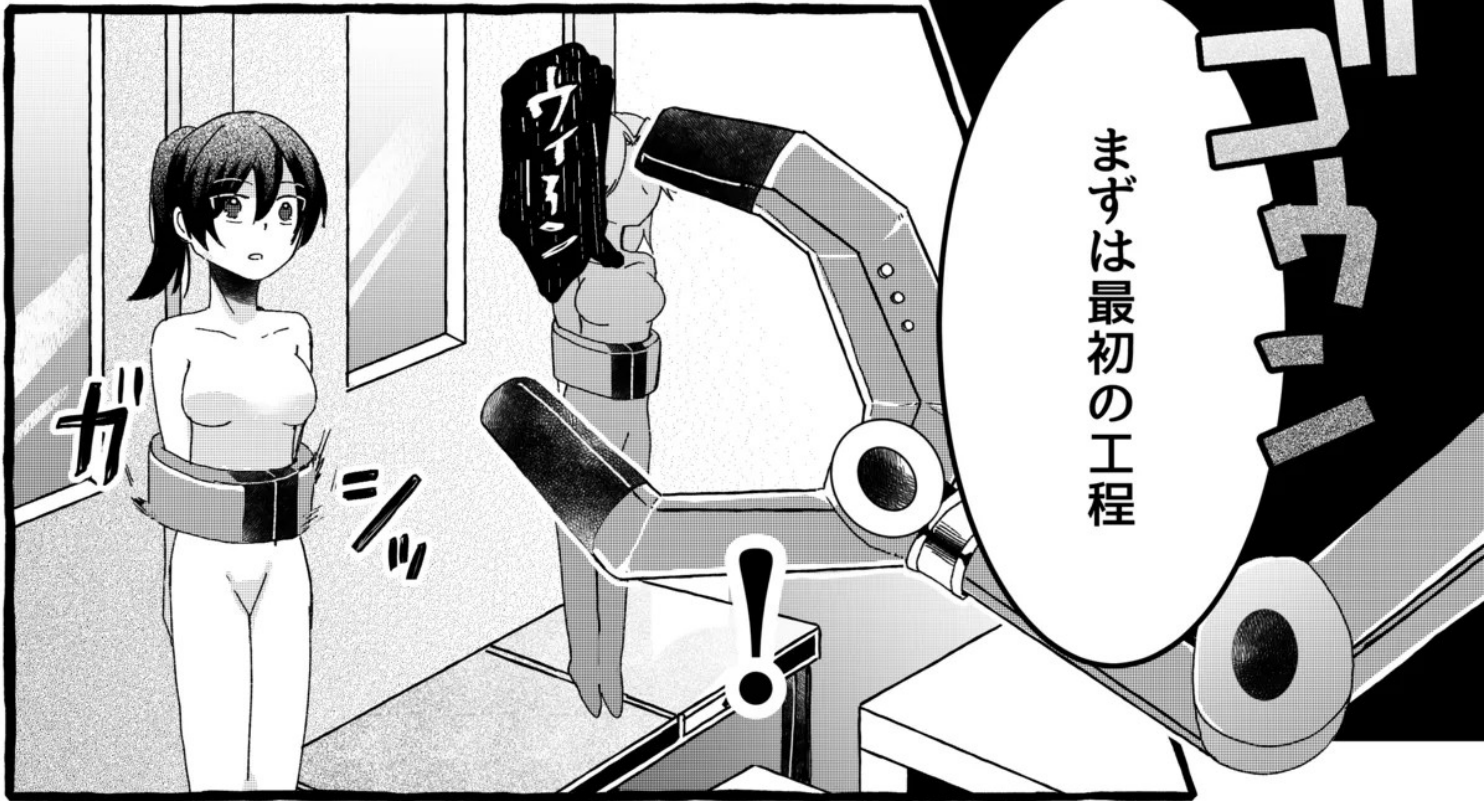
万が一ラインから  
落ちてしまっても、  
非生体のメイドロボたちが  
すぐに戻してくれるんだ

……って  
言ってたっけ



ゴウニ





まずは最初の工程



待って待って待って！

最初に全身のコーティング

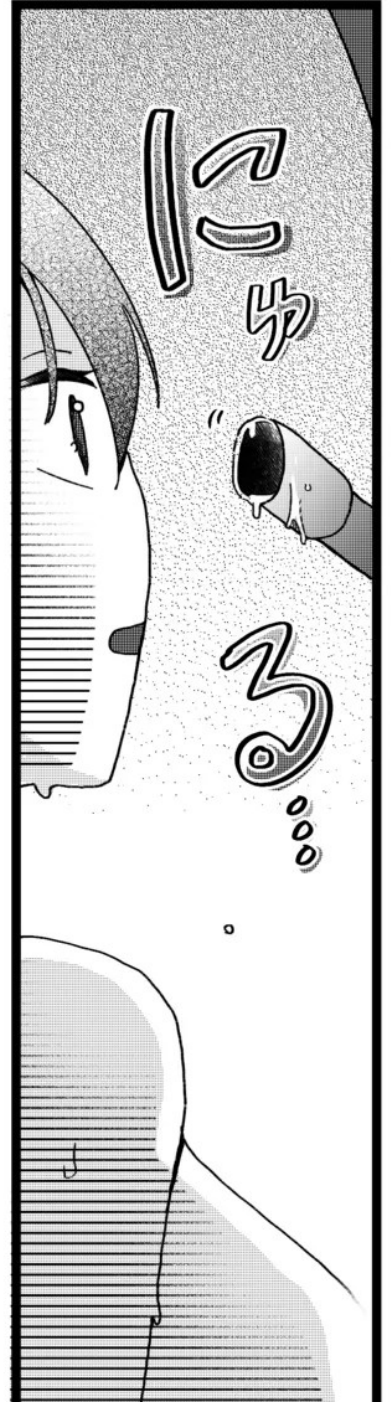
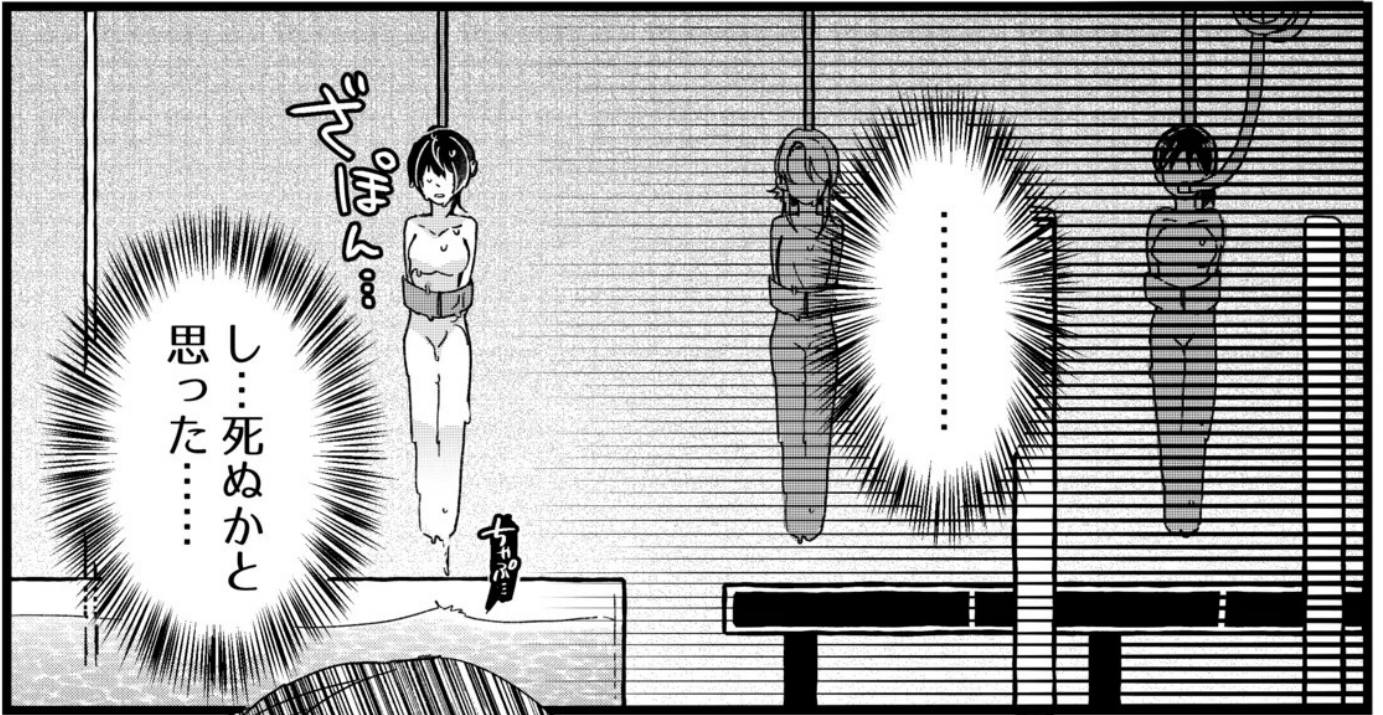
クワイ

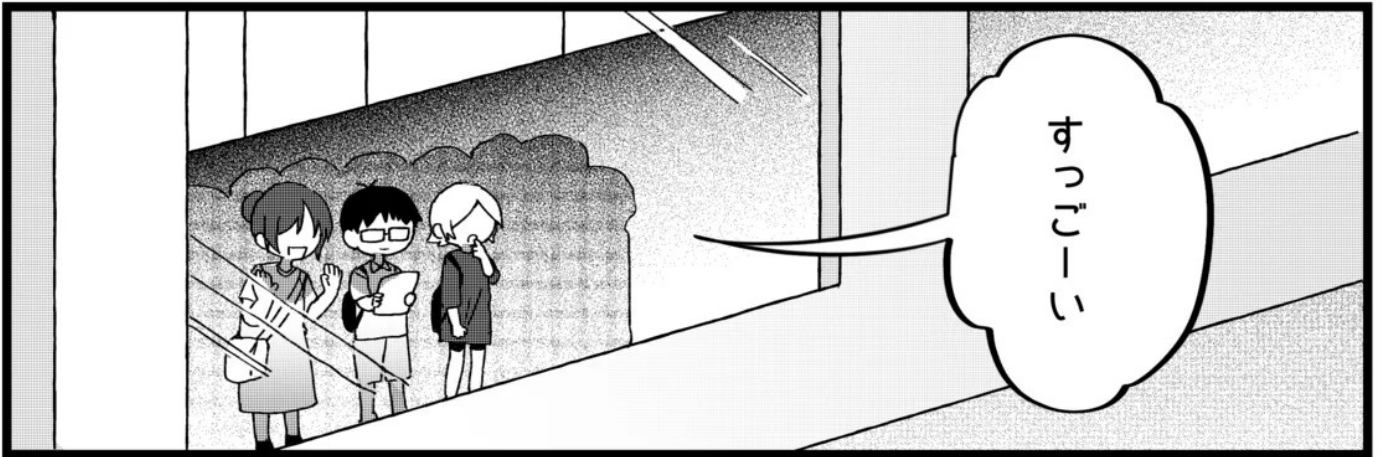
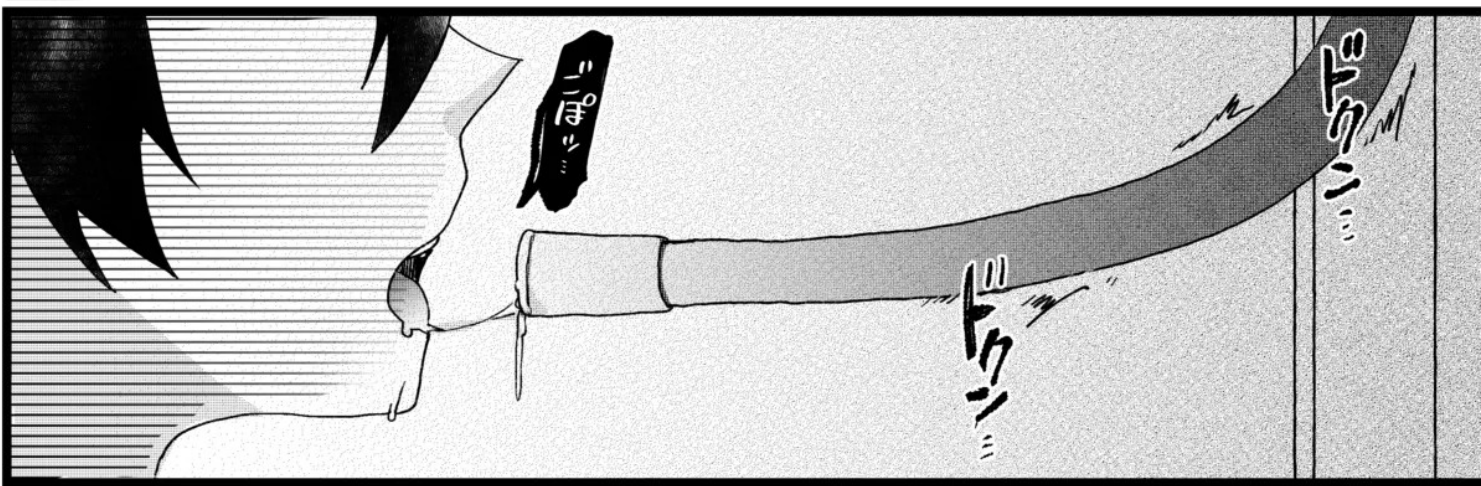
ぽ

細胞の老化を防ぎ、汗や垢などの汚れを自動的に分解してくれるようになるんだ

やめて！私はメイドロボじゃない！

助けてええーッ!!





ワイヤー……



ま、待って……

すっ



カチカチ

やめて  
着せないで!

こんな服……



しゅ

これじゃまるで私……

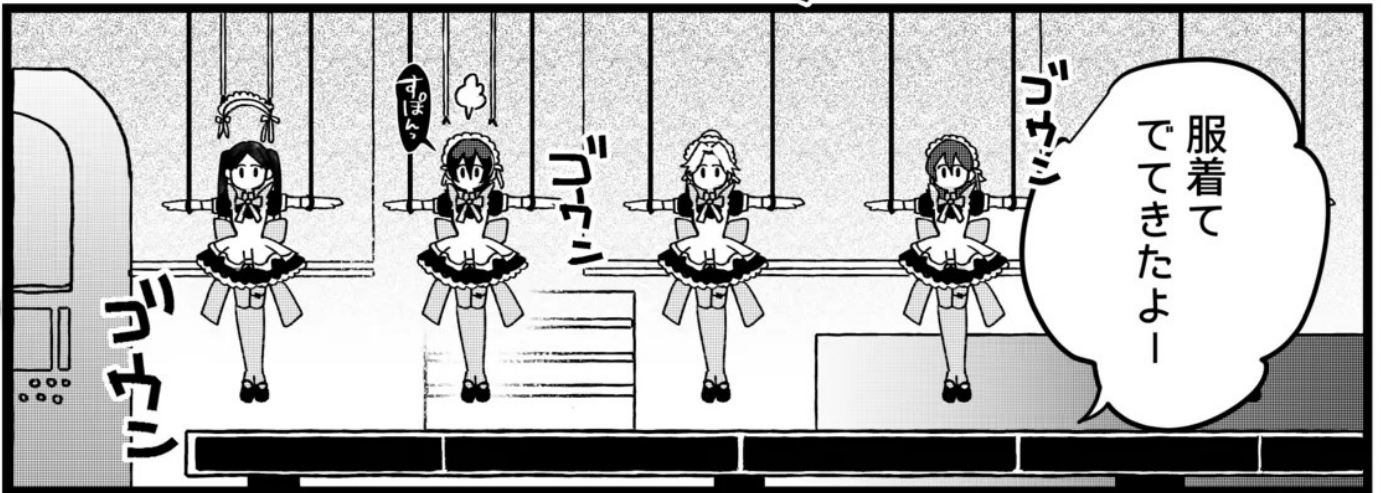


ワイヤー……

カチカチ



すっほん





嘘でしょ  
そんな……



これって確か……  
に……二度と……



そう、二度と  
脱げなくなるんだ  
安心安全



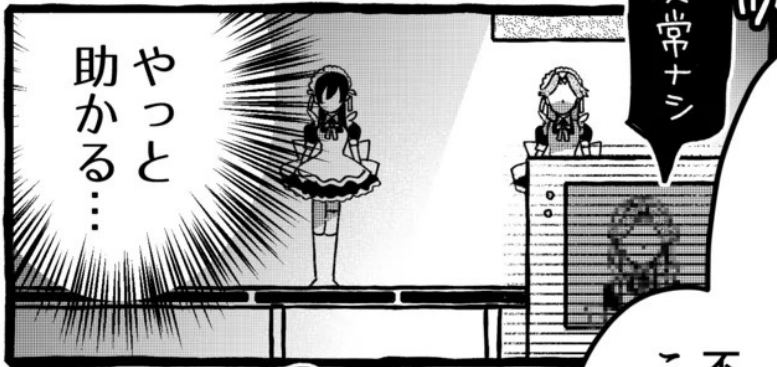
わ……私

これから  
一生……

ゴガン

メイド姿で  
生きていかないと  
いけないの……？

ゴガン



やっと  
助かる…

異常ナシ



最後に検品

不良品があれば  
ここで弾かれるんだ

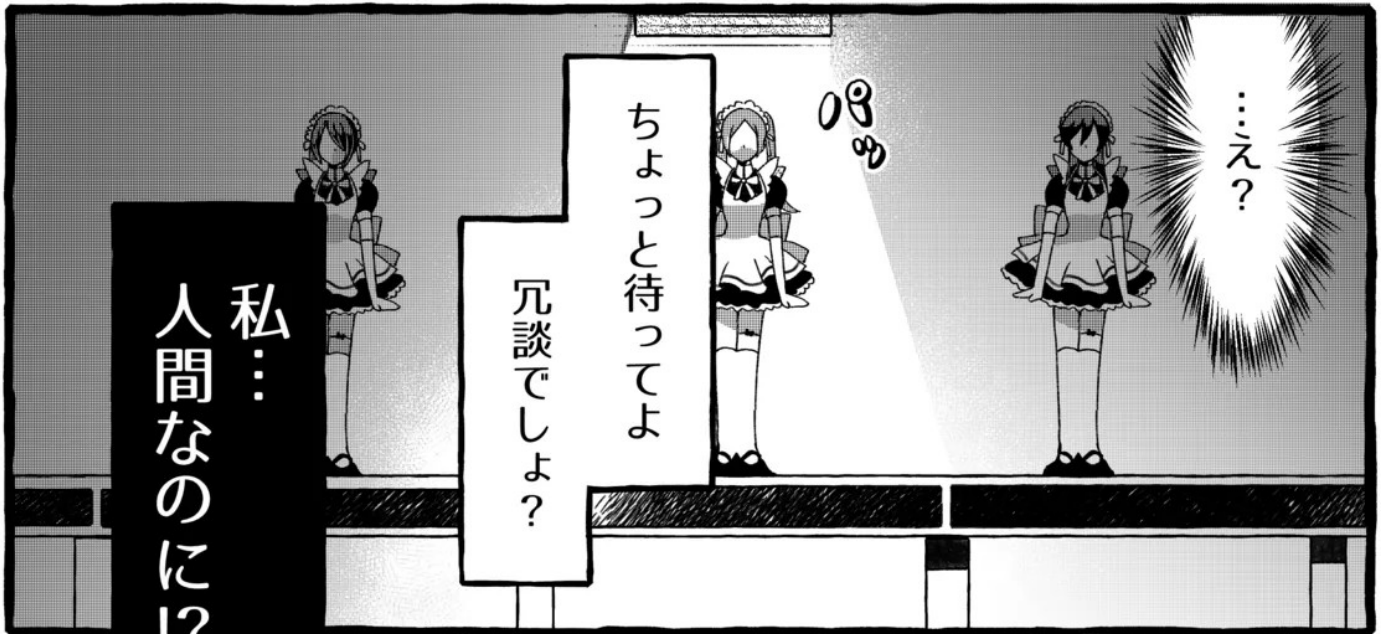


…ここでわかって  
くれるはず…  
私が人間だって



異常ナシ

異常ナシ



…え？

異常ナシ

ちよっと待ってよ

冗談でしょ？

私…  
人間なのに!?

異常なしって  
どういうこと…!?



ブ  
ン  
タ  
ン  
ブ  
ン  
タ  
ン  
ブ  
ン  
タ  
ン



わ、私…私の身体……

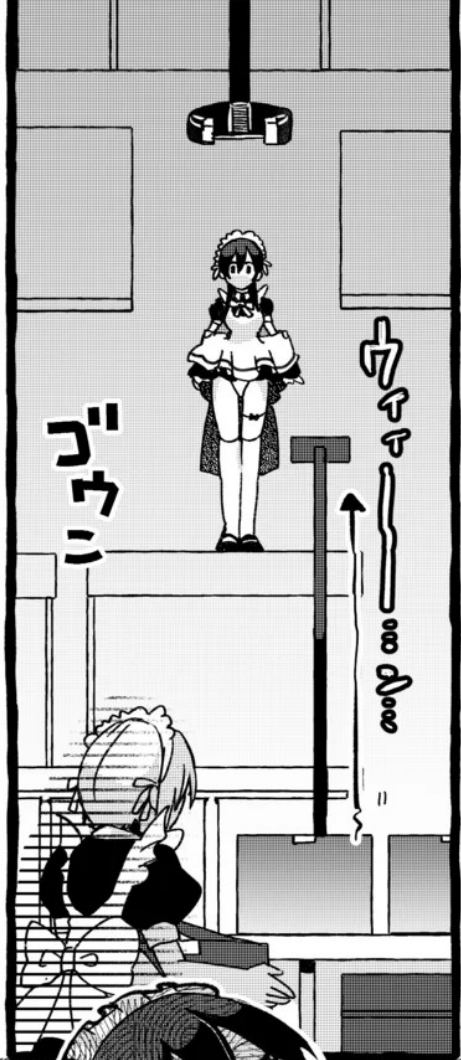
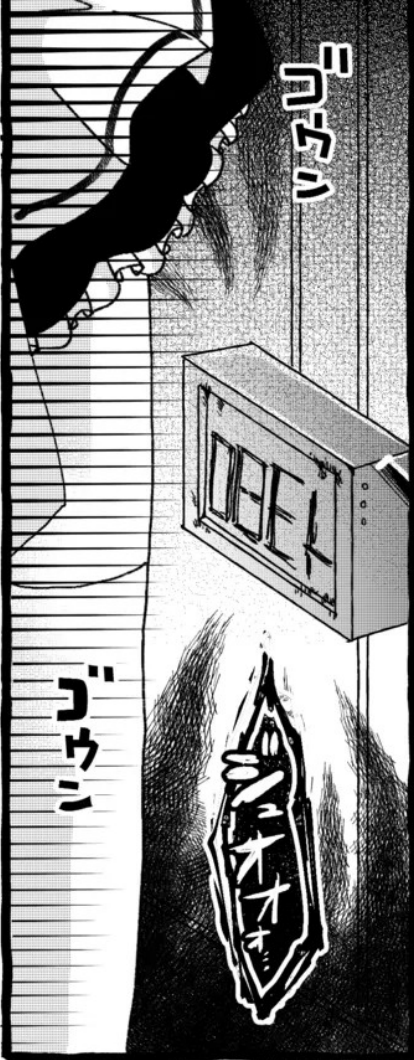
完全に…メイドロボに  
されちゃったってことなの!?

ブ  
ン  
タ  
ン



!?

!!!



ブリクニ

ここでは一体一体、  
製造番号を刻むんだ

ブリクニ

ナノマシンを焼き付けて、  
内部の神経系と接続する

二度と除去も  
変更もできないから  
これで識別が……

ブリクニ



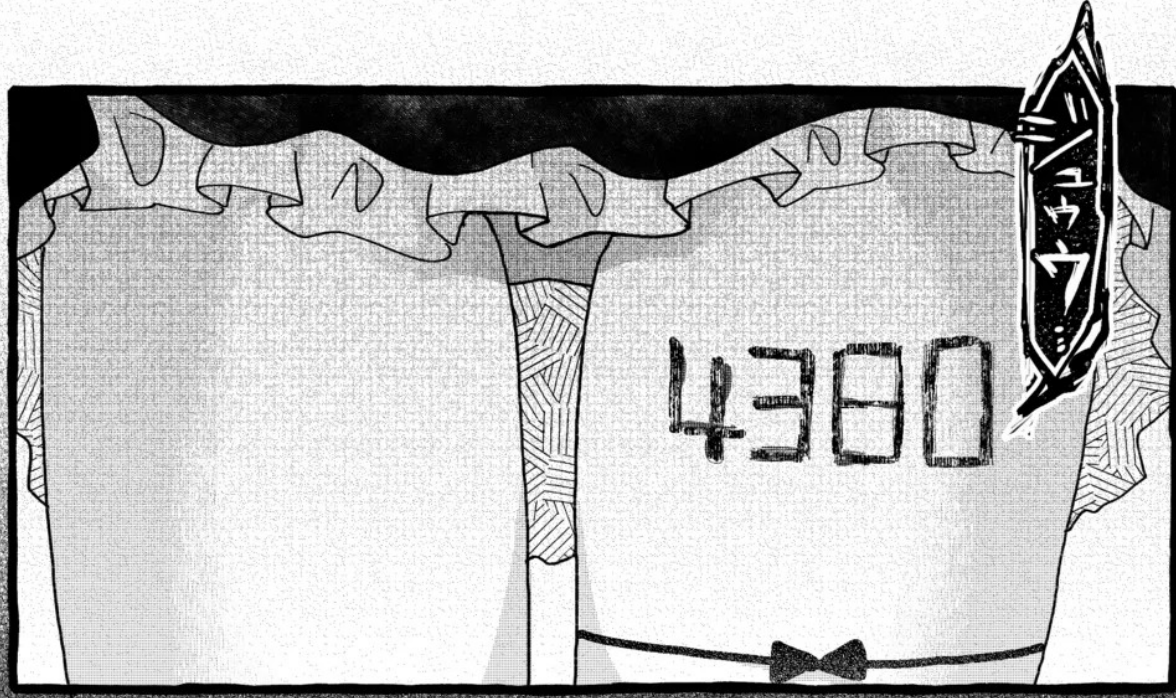
あの…

もうちよつと  
平易な言葉でないと…



女はは…

おおっと…  
すみません



ブリクニ

4380



はあ...あ...

終わった...の？

信じ...られない...

ば...番号、  
入れられ、ちゃった...

二度と...  
取れない...のに...

人間...なのに...



キ...



動けない...



...

痺れが...とれ、た？

そうか！もう  
製造ラインを抜けたから...



ヒッ



最後に箱に  
詰めたら終わり



ここからは  
ナノマシン制御で  
自発的に動いてくれるんだ



どうして？  
もう電気は  
流れてない  
はずなのに……

ぞろ……

ぞろ



……体が  
勝手に……

……



黄土先生！



おこたー！



お願い！  
気をつけて！



嫌！

〜アツク〜



助けて！  
私！私です！  
藤原です！

キーン

キーン

キーン



はーい！

わかったかな？



こうやってみんながお店で見るメイドロボになるんだね

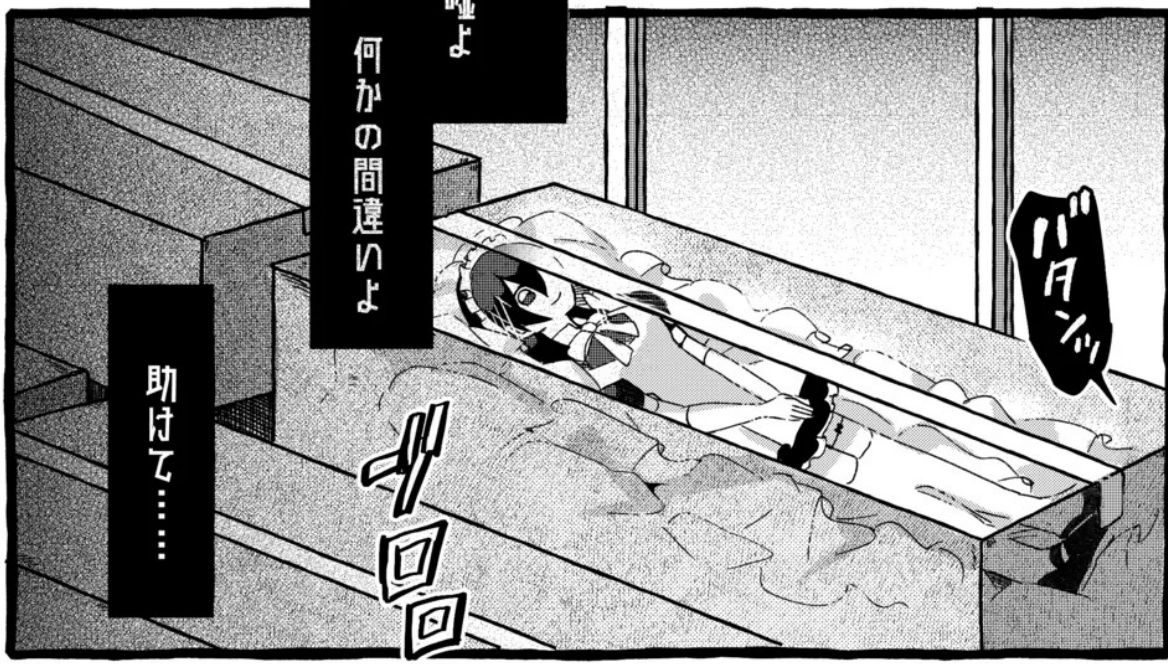


私、本当にメイドロボに……

新品のメイドロボにされちゃうー！



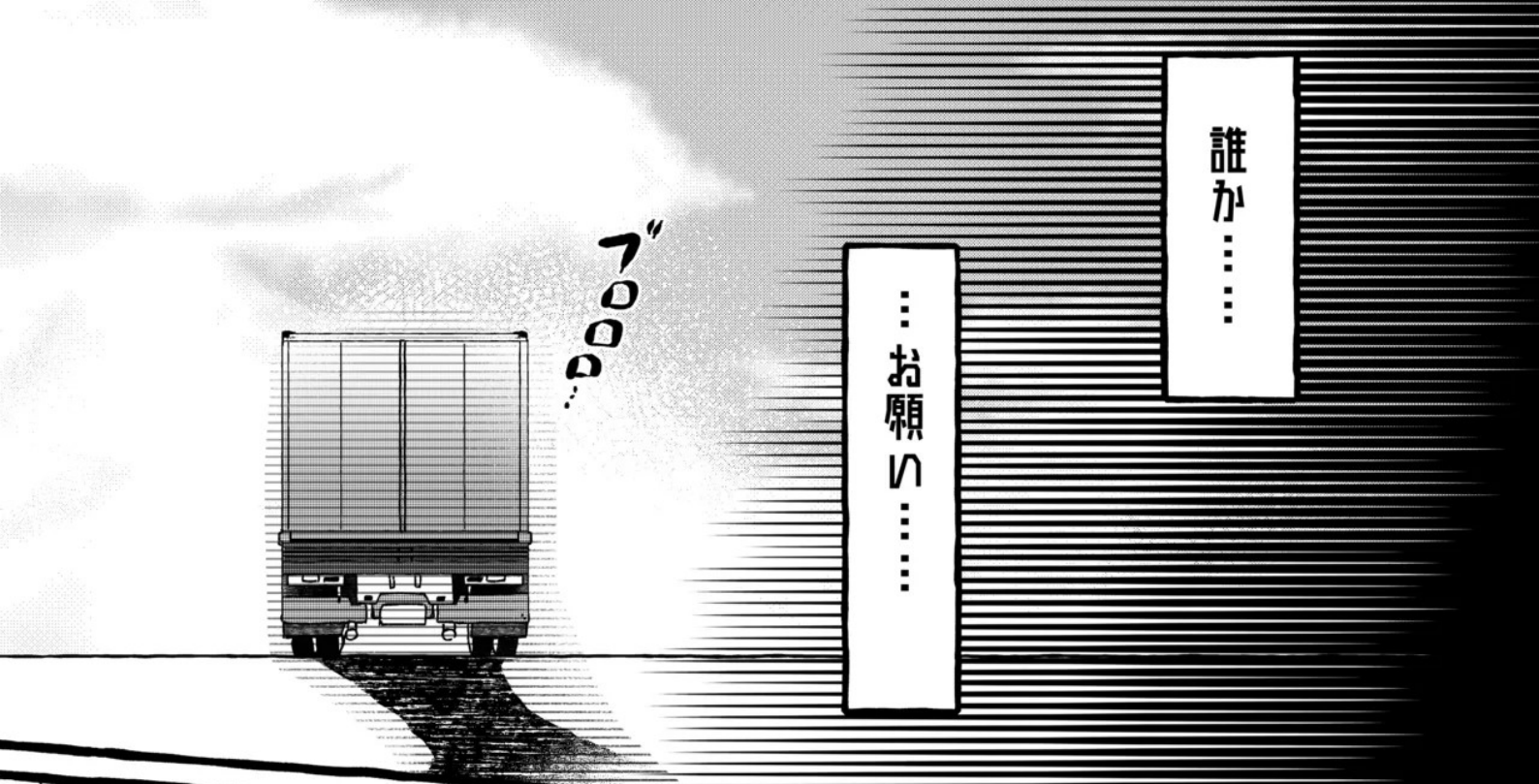
こんな……  
こんなの嘘よ



何かの間違いよ

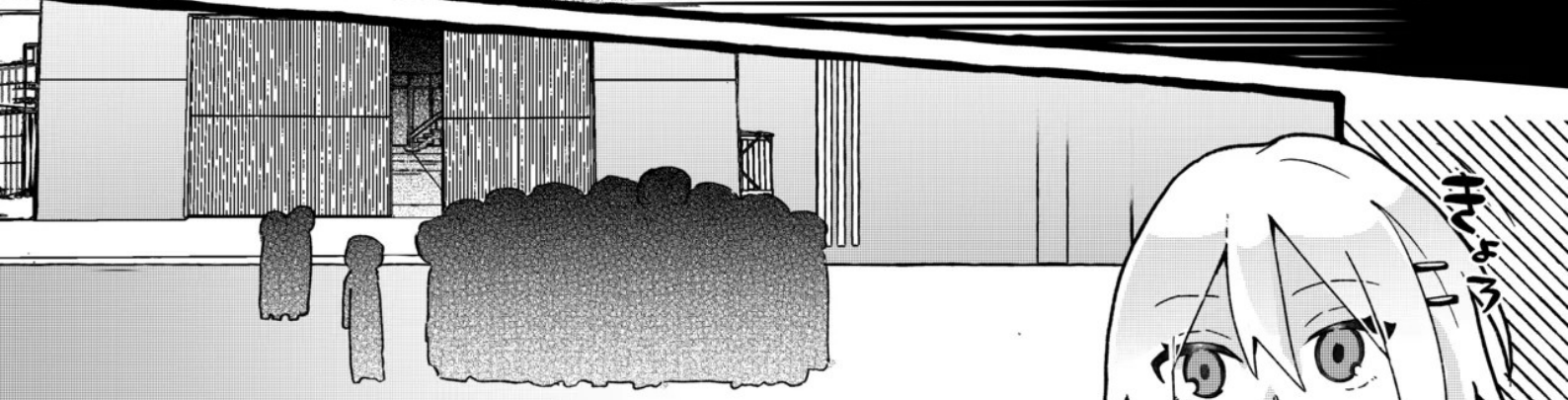
助けて……

……



誰か……

……お願い……



ましろ



あれ？  
藤原先生は？

知らない

トイレじゃねー？

？



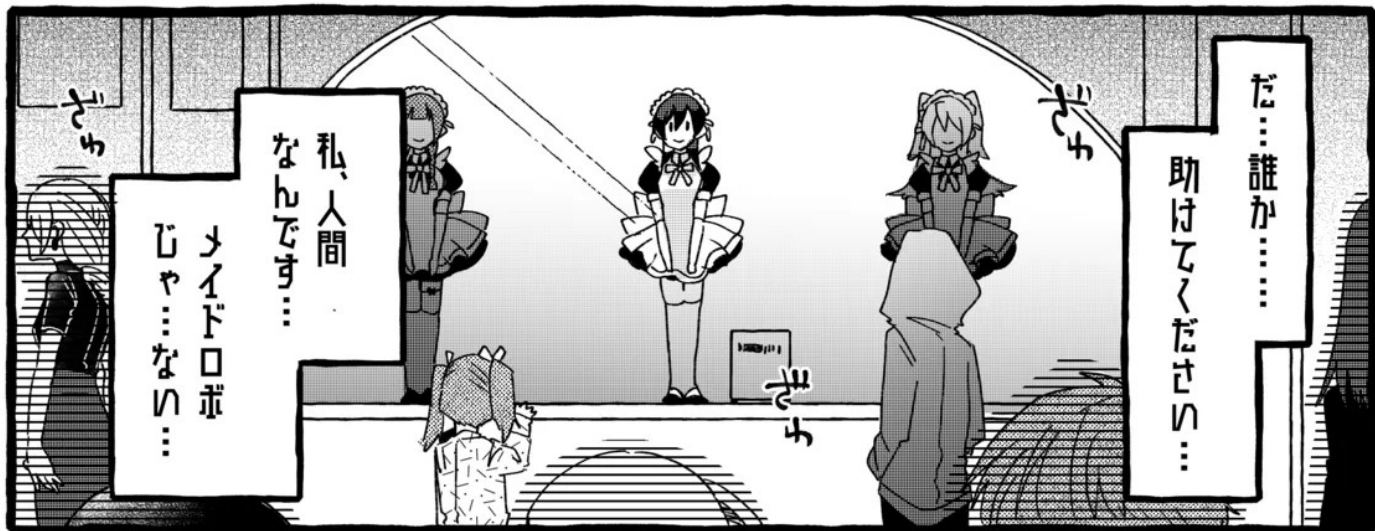
あ、  
伊藤くん



ましろ



どきどき  
どきどき

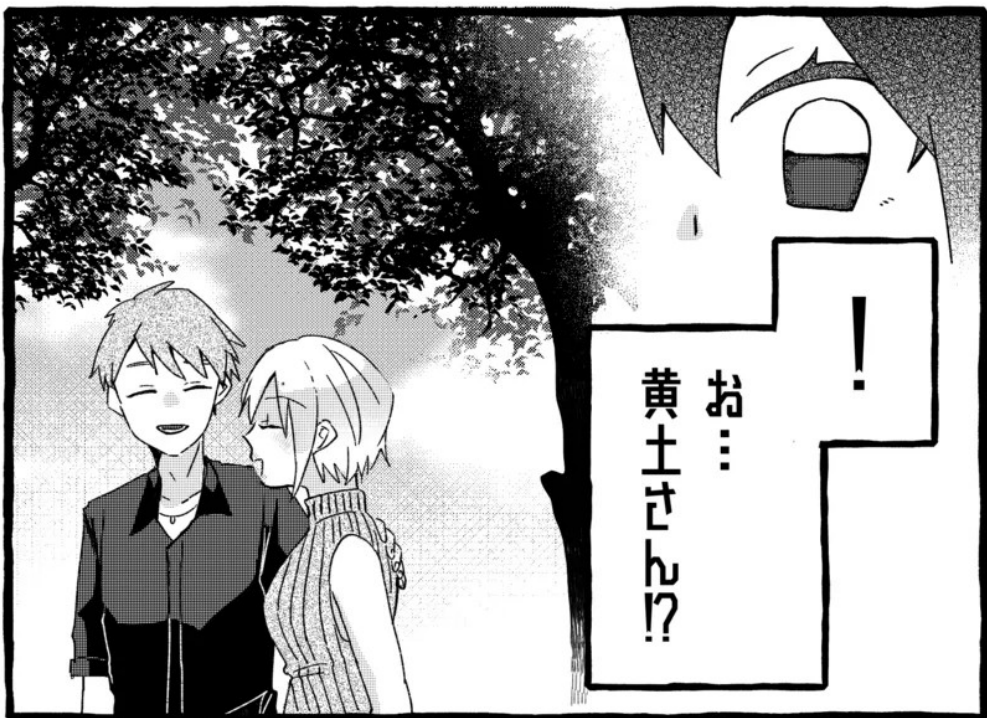


どきどき  
私、人間  
なんです…  
メイドロボ  
じゃ…ない…

だ…誰か…  
助けてください…



ooo  
お願い！  
こっちを見て！  
私です！藤原です！



お…  
黄土さん!?



どしたの？

知り合いに  
そつくり  
だったから

ウケる

おはる



ち…違う！  
待って！  
私です！

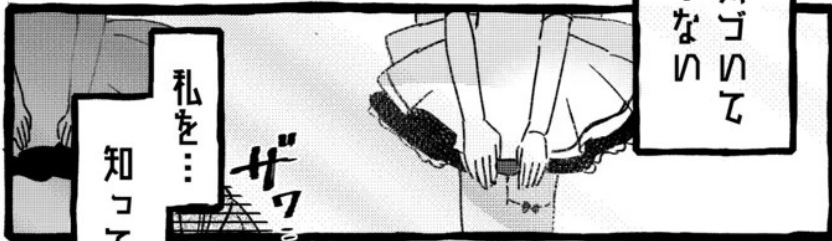
本人です！



そんな…

誰も気づいて  
くれ…ない

ガ



私を…

知ってる…人で…さえ…

ガ

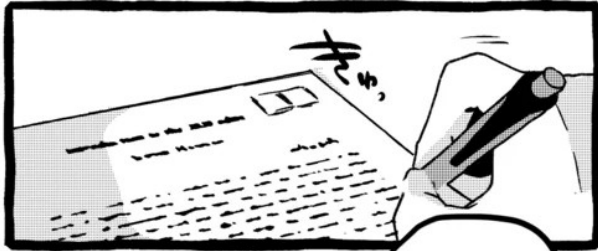


ガ



気づいて…  
行かないでーッ！

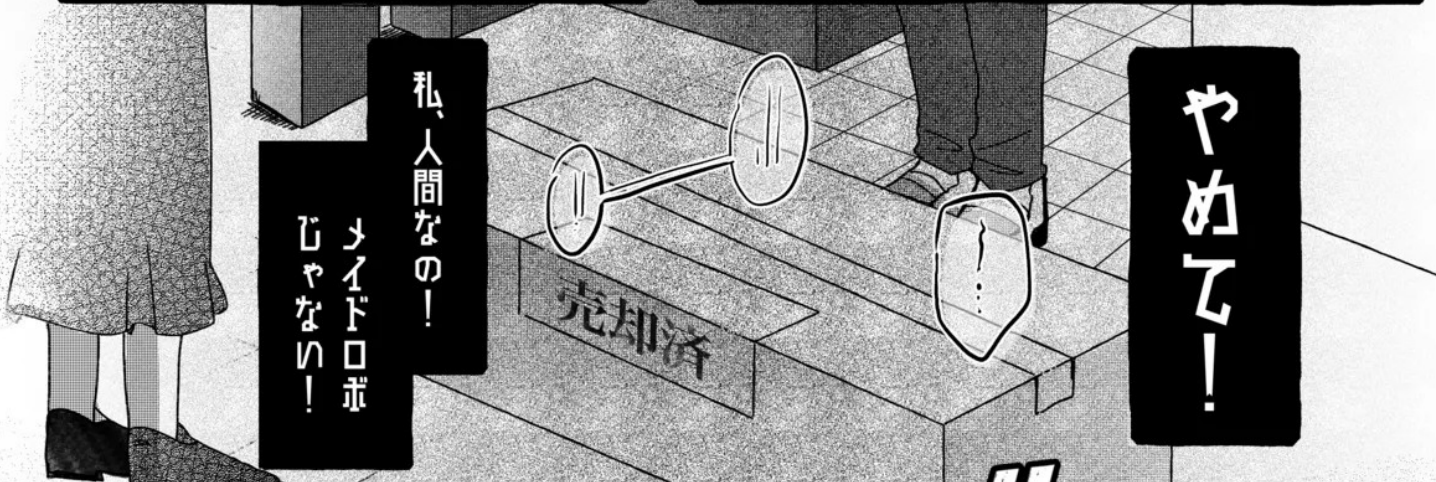
あはは…



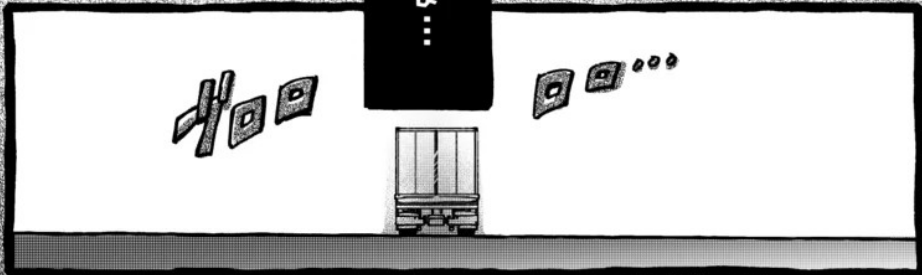
ボーナスも出したし  
俺からのプレゼント



だから買うん  
じやないか  
色々大変だろ?



私、人間なの!  
メイドロボ  
じゃない!



所有者登録を  
完了いたしました  
続けて当機の  
名前を設定  
いたしますか？

どうする？  
俺はなんでも  
いいけど

じゃあ  
ケイトに  
しましょう

それで  
いいわね？  
メイドロボさん

…登録完了  
いたしました

以後、ケイトと  
お呼びください

なお「メイドロボ」  
「4380号」にも  
引き続き反応  
いたします  
ご了承ください

違う！

私の名前は  
藤原よ！  
藤原芽衣！

「ケイト」  
なんかじゃ  
ない！

「メイドロボ  
4380号」でも  
ない！

身体が…勝手に

誰か…私を…

人間に…

人間に……  
戻して……

……でね  
これつくってるとこ  
見せてもらったんだ！

そう  
勉強になったのね！



これが  
「せいぞろい番号」で  
ジューってするのー！

一つ一つちがって  
変えられないから  
これでケイトか  
どうかんだって！  
わかるんだって！

そうね  
どこの子か  
分からなく  
なっちゃったら  
大変なものね



ちゃんとなのか  
わかるよーに  
なつててよかったね

ねーケイトー！

